

## M16C/63,64A,64C,65,65C,6Cグループ

R01AN0411JJ0101

## リセット要因判別レジスタの使用方法

Rev.1.01

2011.04.28

## 1. 要約

この資料では、リセット要因判別レジスタを使用し、リセットの種類を判別する応用例を示します。

## 2. はじめに

この資料で説明する応用例は、次のマイコンでの利用に適用されます。

- マイコン: M16C/63,64A,64C,65,65C,6Cグループ

本アプリケーションノートは、上記グループと同様のSFR(周辺機能制御レジスタ)を持つM16Cファミリマイコンでも使用できます。ただし、一部の機能を変更している場合がありますのでマニュアルで確認してください。また、本アプリケーションノートで説明しているプログラムを使用される場合は十分な評価を行ってください。

### 3. リセット

表 3.1 にリセットの種類を、図 3.1 にリセット要因判別レジスタを、表 3.2 にリセット後の RSTFR レジスタのビットの値を示します。

表 3.1 リセットの種類

リセットの名称	要因
ハードウェアリセット	RESET 端子の入力電圧が“L”
パワーオンリセット	VCC1の上昇
電圧監視0リセット	VCC1の下降(監視電圧: Vdet0)
電圧監視1リセット	VCC1の下降(監視電圧: Vdet1)
電圧監視2リセット	VCC1の下降(監視電圧: Vdet2)
発振停止検出リセット	メインクロック発振回路の停止を検出
ウォッチドッグタイマリセット	ウォッチドッグタイマのアンダフロー
ソフトウェアリセット	PM0レジスタのPM03ビットに“1”を書く

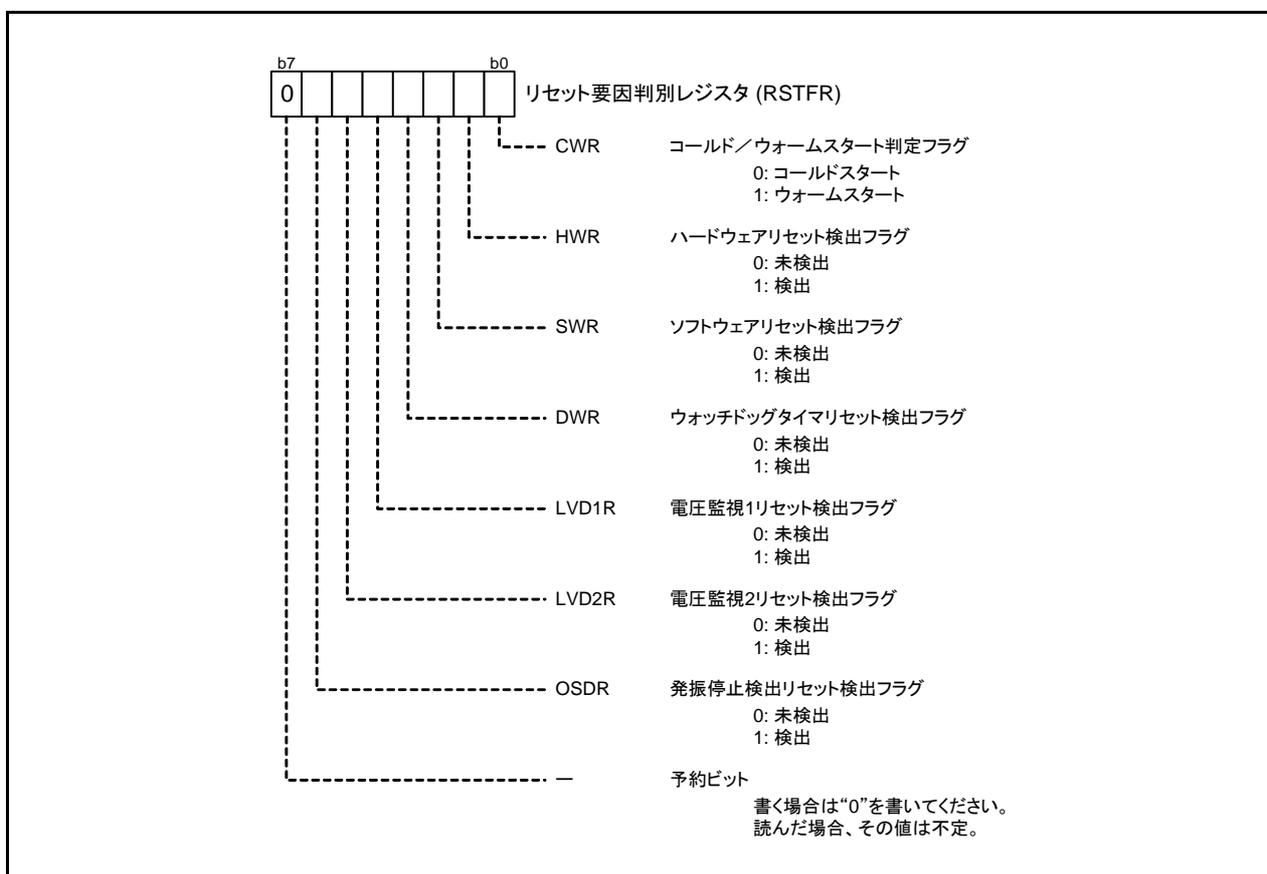


図 3.1 リセット要因判別レジスタ

表 3.2 リセット後のRSTFRレジスタのビットの値

リセット	RSTFRレジスタのビット						
	OSDR	LVD2R	LVD1R	WDR	SWR	HWR	CWR
ハードウェアリセット	変化しない	0	0	0	0	1	変化しない
パワーオンリセット	0	0	0	0	0	0	0
電圧監視0リセット	0	0	0	0	0	0	0
電圧監視1リセット	0	0	1	0	0	0	変化しない
電圧監視2リセット	0	1	0	0	0	0	変化しない
発振停止検出リセット	1	0	0	0	0	0	変化しない
ウォッチドッグタイマリセット	0	0	0	1	0	0	変化しない
ソフトウェアリセット	0	0	0	0	1	0	変化しない

## 4. 応用例

RSTFR レジスタ CWR ビットは、パワーオンリセットと電圧監視0リセット時に“0”に初期化されます。その他のリセットの場合は変化しません。CWR ビットを利用し、コールドスタートとウォームスタートの判定を行います。

また、test\_bss セクションを設定し、使用する変数を配置します。test\_bss セクションはコールドスタート時のみ RAM クリアします。本サンプルコードでは、test\_bss セクションを 000400h 番地に配置しています。

図 4.1 に応用例のセクション配置例を示します。

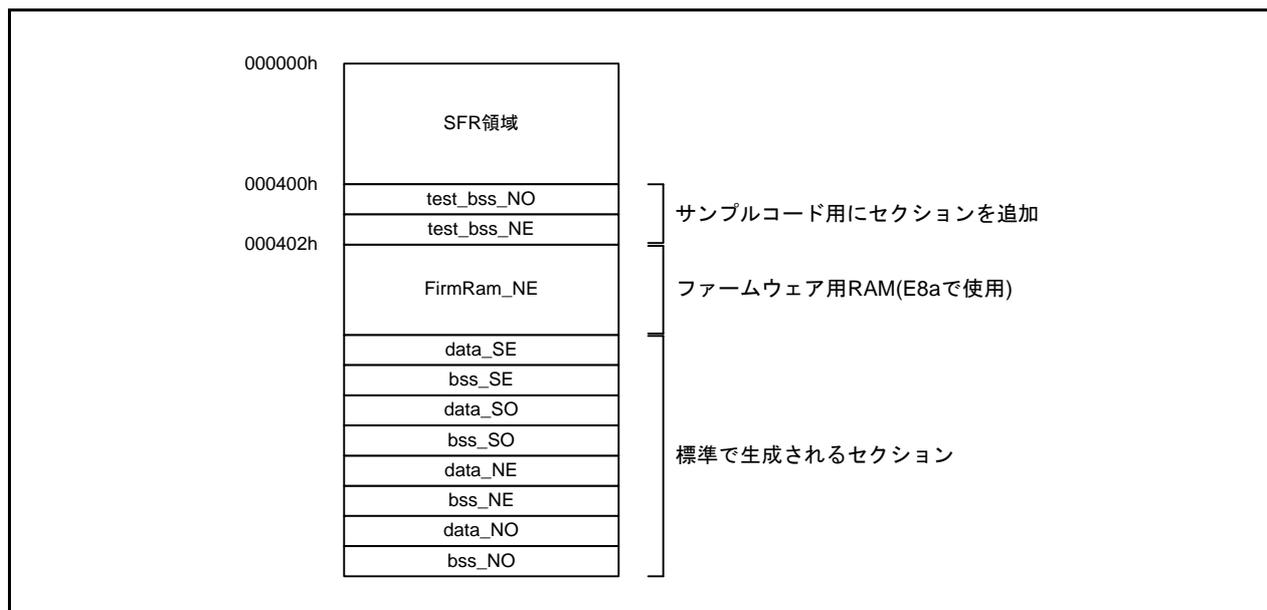


図 4.1 応用例のセクション配置例

### 4.1 応用例の動作

CWR ビットを確認し、コールドスタート時は test\_bss セクションの RAM クリアを行います。その後、リセット回数と RSTFR レジスタの値をポートに出力します。

図 4.2 にメインプログラムのフローチャートを示します。

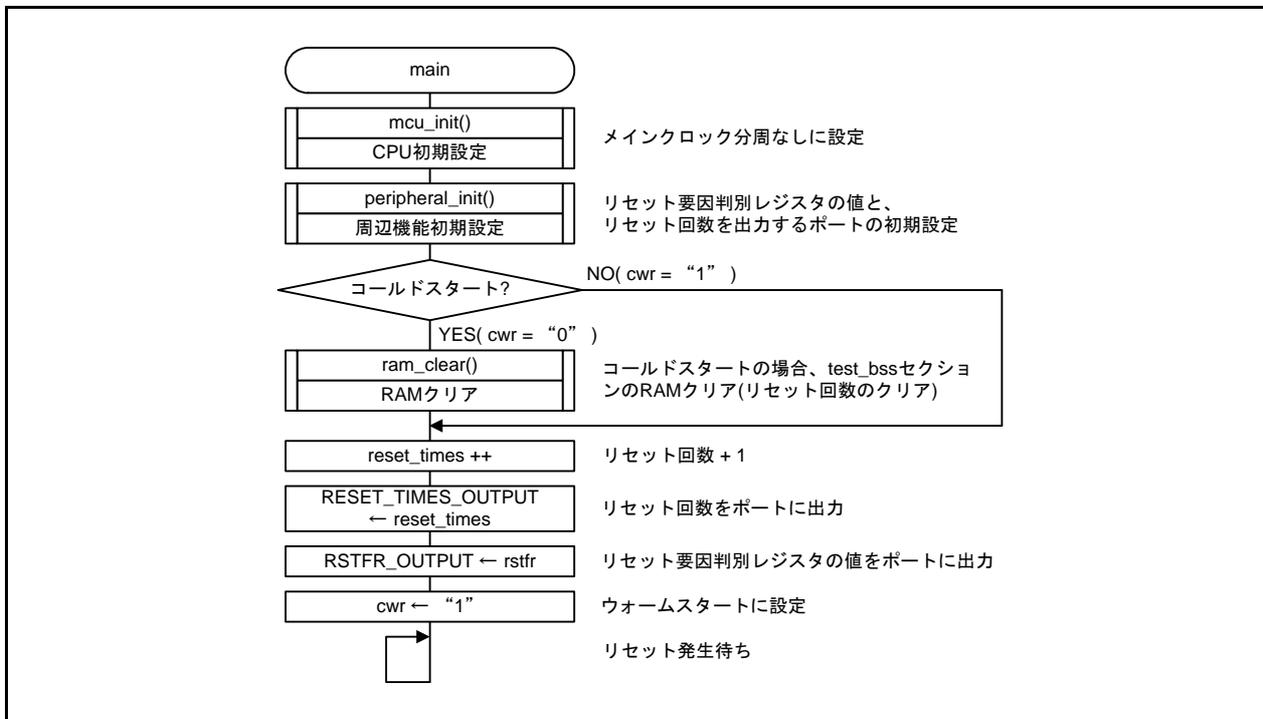


図 4.2 メインプログラムのフローチャート

## 4.2 セクションの設定方法

通常、初期値を持たない変数を宣言すると、コンパイラがbss\_NO、bss\_NEセクションに配置し、ゼロクリアします。本サンプルコードでは、ユーザーが作成したtest\_bssセクションに使用する変数を配置します。

ここでは、セクションの設定方法について説明します。セクションについての詳しい説明は、Cコンパイラユーザーズマニュアルを参照してください。

セクションを表すセクション名は、セクションベース名とその属性により、図 4.3で構成されます。

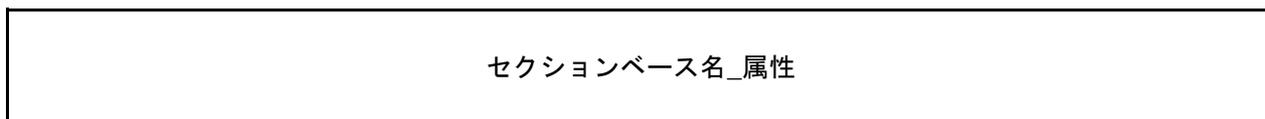


図 4.3 セクション名

表 4.1にセクションベース名を、表 4.2に属性を示します。

表 4.1 セクションベース名

セクションベース名	内容
data	初期値のあるデータを格納します。
bss	初期値のないデータを格納します。
rom	文字列、#pragma ROM、const修飾子で指定されたデータを格納します。

表 4.2 属性

属性	意味	対象セクションベース	
I	データの初期値を保持するセクション	data	
N / F / S	N	near属性	data、bss、rom
	F	far属性	
	S	SBDATA属性	data、bss
E / O	E	データサイズが偶数	data、bss、rom
	O	データサイズが奇数	

スタートアッププログラムで以下のようにRAMクリアを行っています。

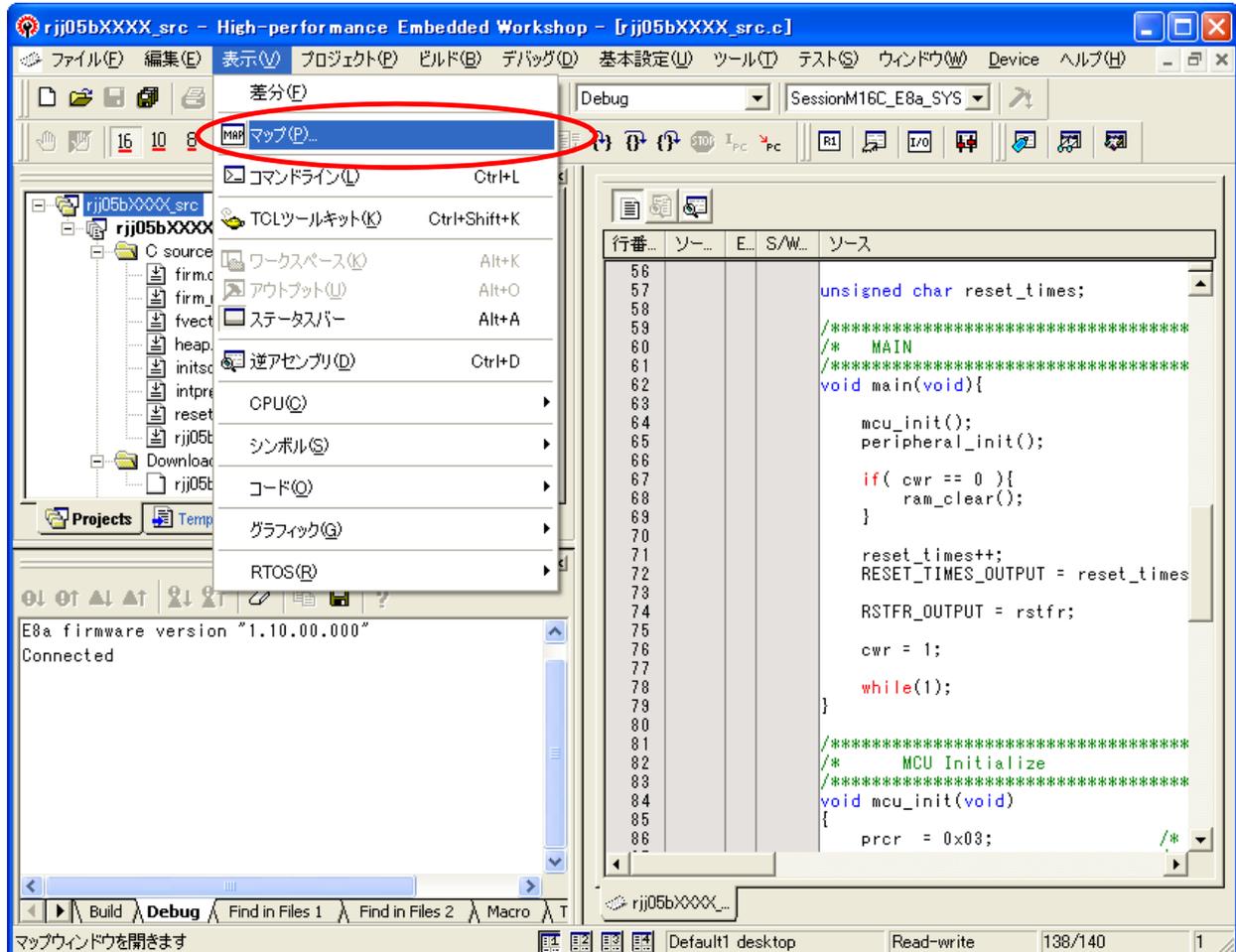
- データのnear領域の初期化
  - bss\_NE、bss\_NO、bss\_SE、bss\_SOセクションをゼロクリアします。
  - また、初期値が格納されたROM領域(data\_NEI、data\_NOI、data\_SEI、data\_SOI)の初期値をRAM領域(data\_NE、data\_NO、data\_SE、data\_SO)に転送する処理を行います。
- データのfar領域の初期化
  - bss\_FE、bss\_FOセクションをゼロクリアします。
  - また、初期値が格納されたROM領域(data\_FEI、data\_FOI)の初期値をRAM領域(data\_FE、data\_FO)に転送する処理を行います。

### 4.3 HEWでのセクションの設定方法

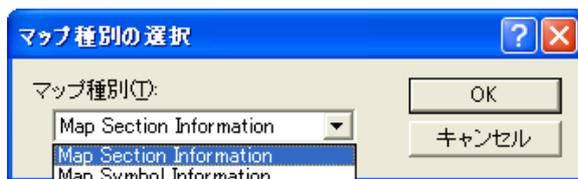
HEWでのセクションの設定方法を示します。以下の方法の場合、ワークスペースを作成する際に、プロジェクトタイプ「C source startup Application」を選択する必要があります。

本サンプルコードではtest\_bssセクションは設定済みです。

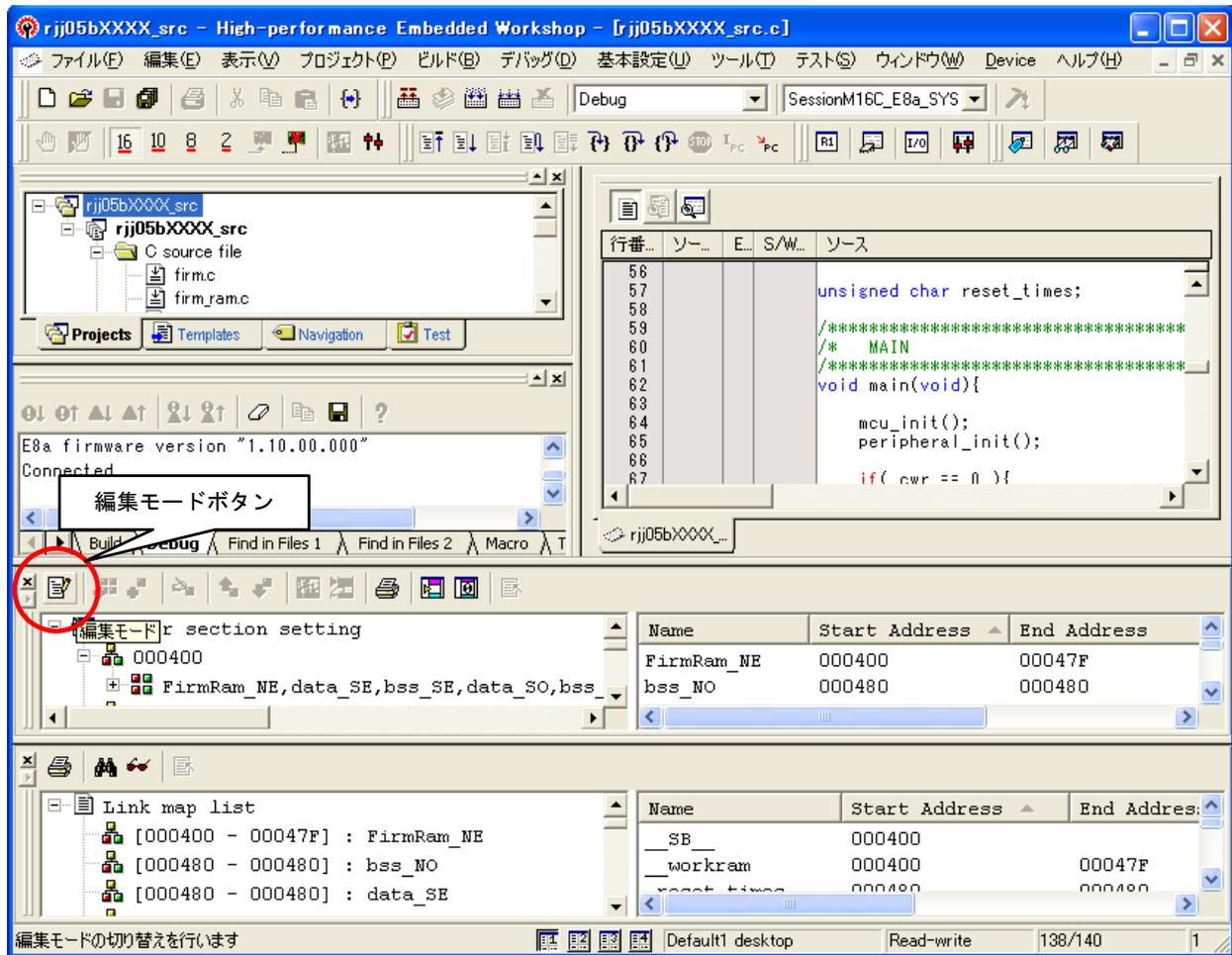
- (1) マップウィンドウを表示させます。メニューの「表示」から「マップ」を選択してください。



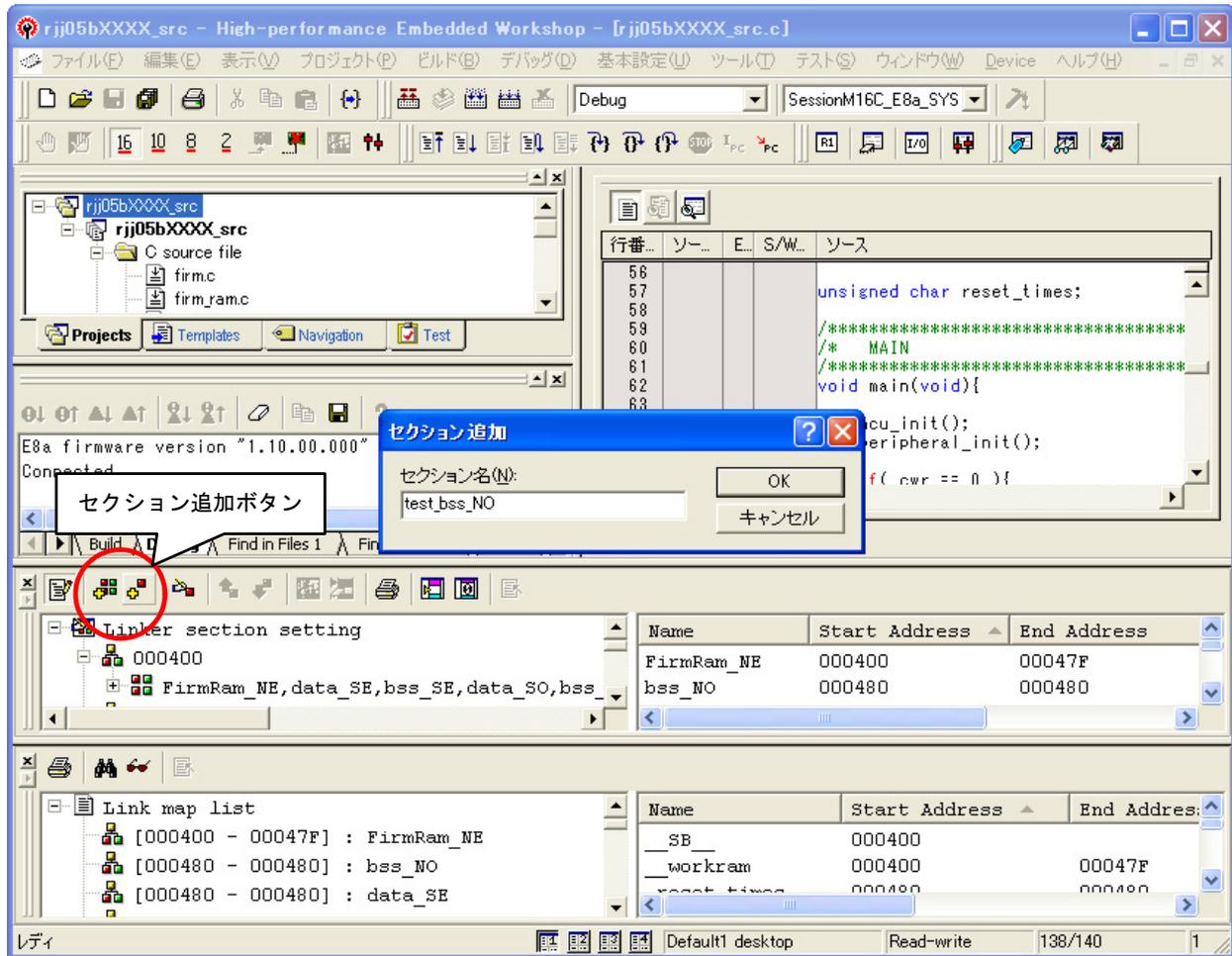
- (2) マップ種別の選択で「Map Section Information」を選択してください。  
同様の手順で「Map Symbol Information」も選択してください。



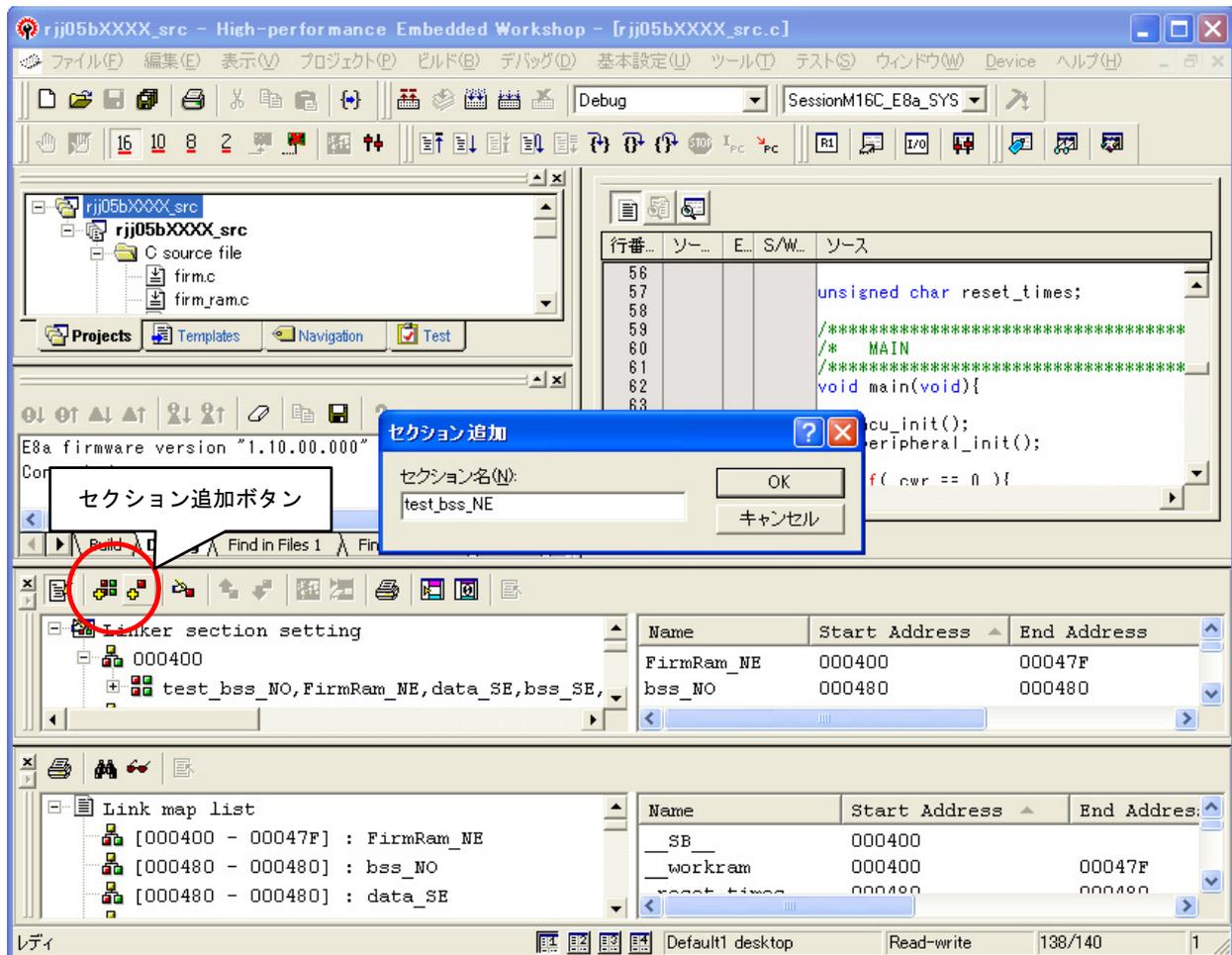
- (3) 「編集モードボタン」を押して、セクション名を編集します。



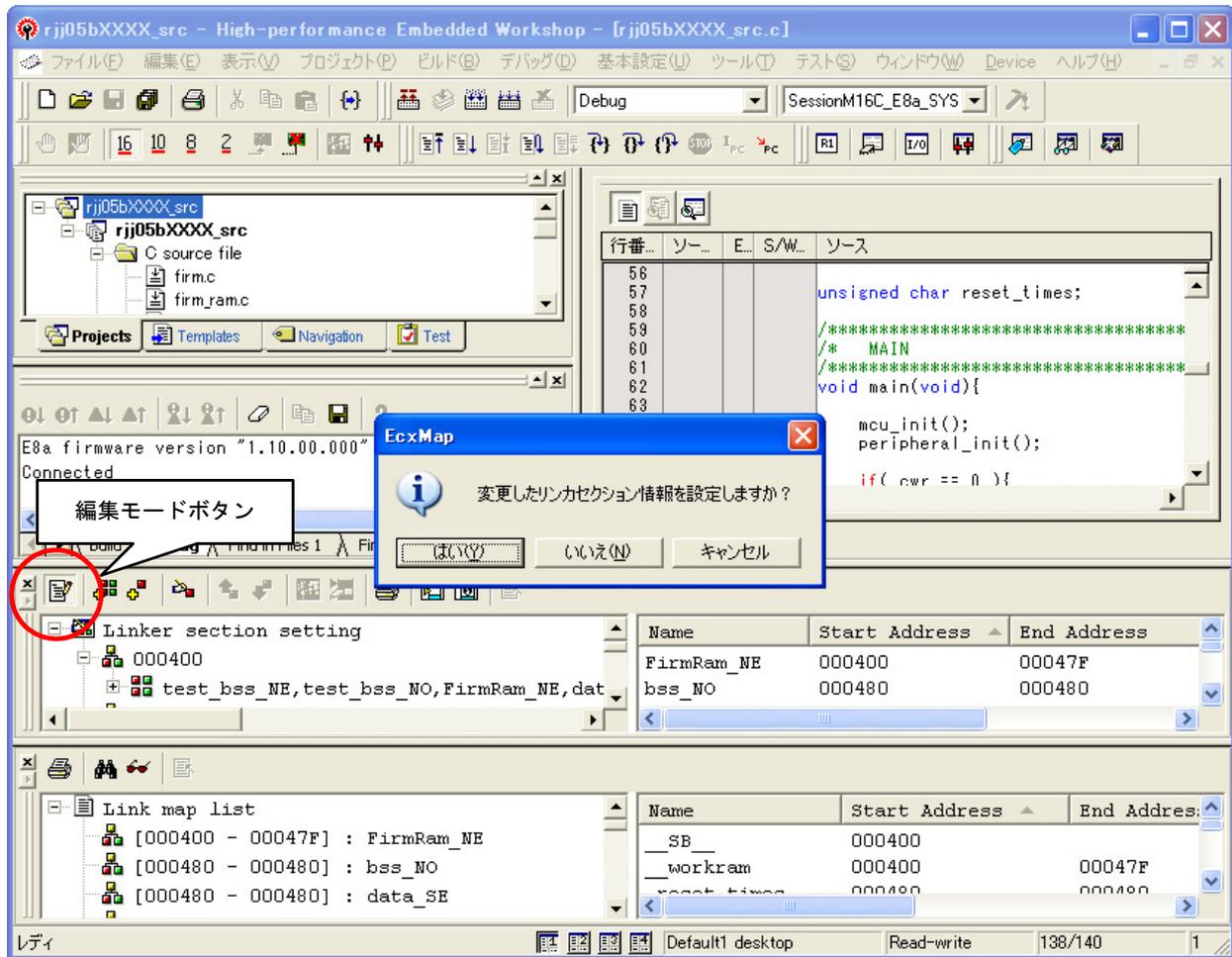
(4) 「セクション追加ボタン」を押して、「test\_bss\_NO」を追加してください。



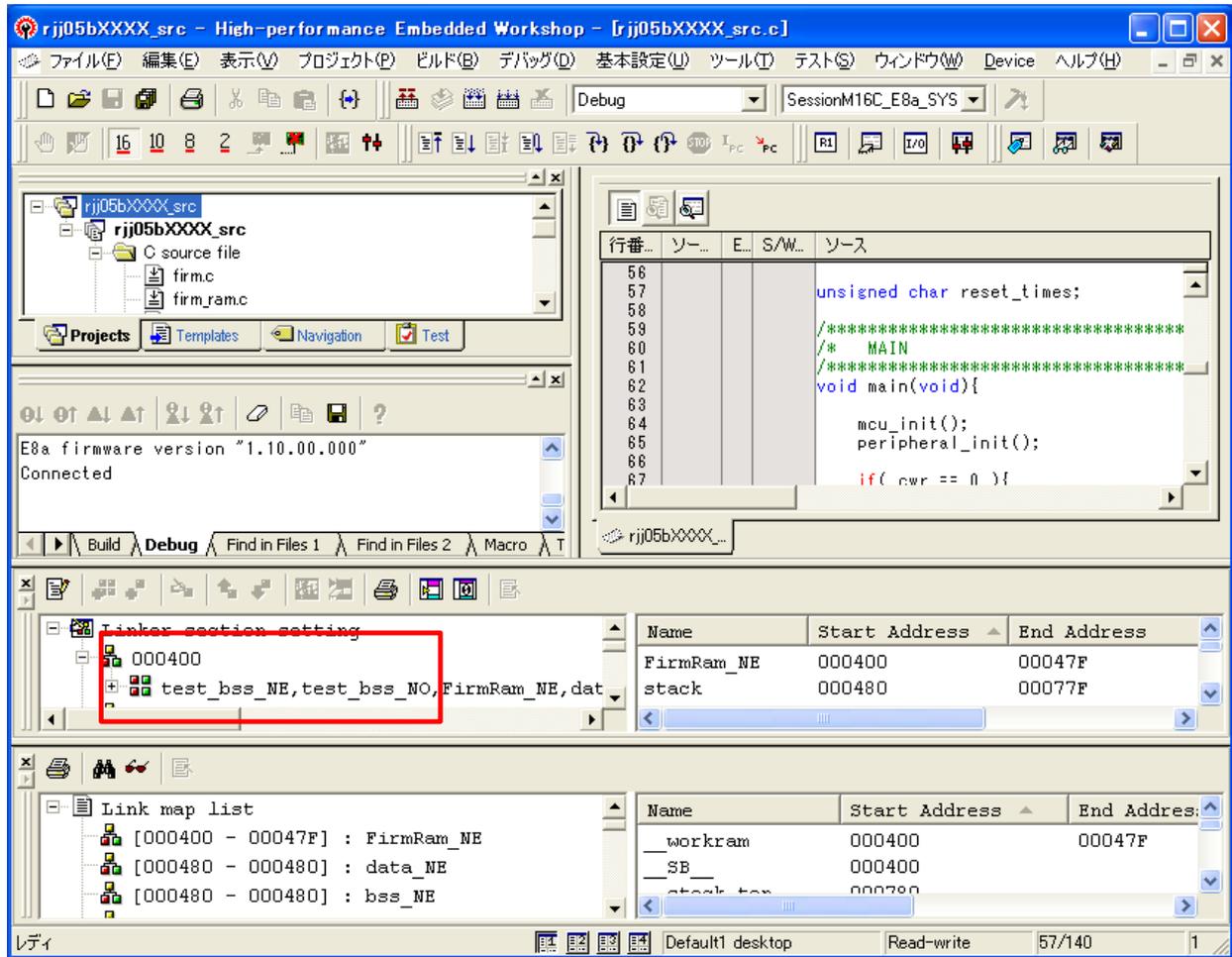
(5) 同様の手順で、「test\_bss\_NE」を追加してください。



(6) 「編集モードボタン」を押して、変更したリンクセクション情報を確定してください。



(7) test\_bss\_NE,test\_bss\_NOセクションが配置されます。



- (8) プログラムでtest\_bssセクションに変数reset\_timesを配置します。  
 図 4.4に変数をtest\_bssセクションに配置する方法を示します。

```
#pragma SECTION bss test_bss
unsigned char reset_times;
```

図 4.4 変数をtest\_bssセクションに配置する方法

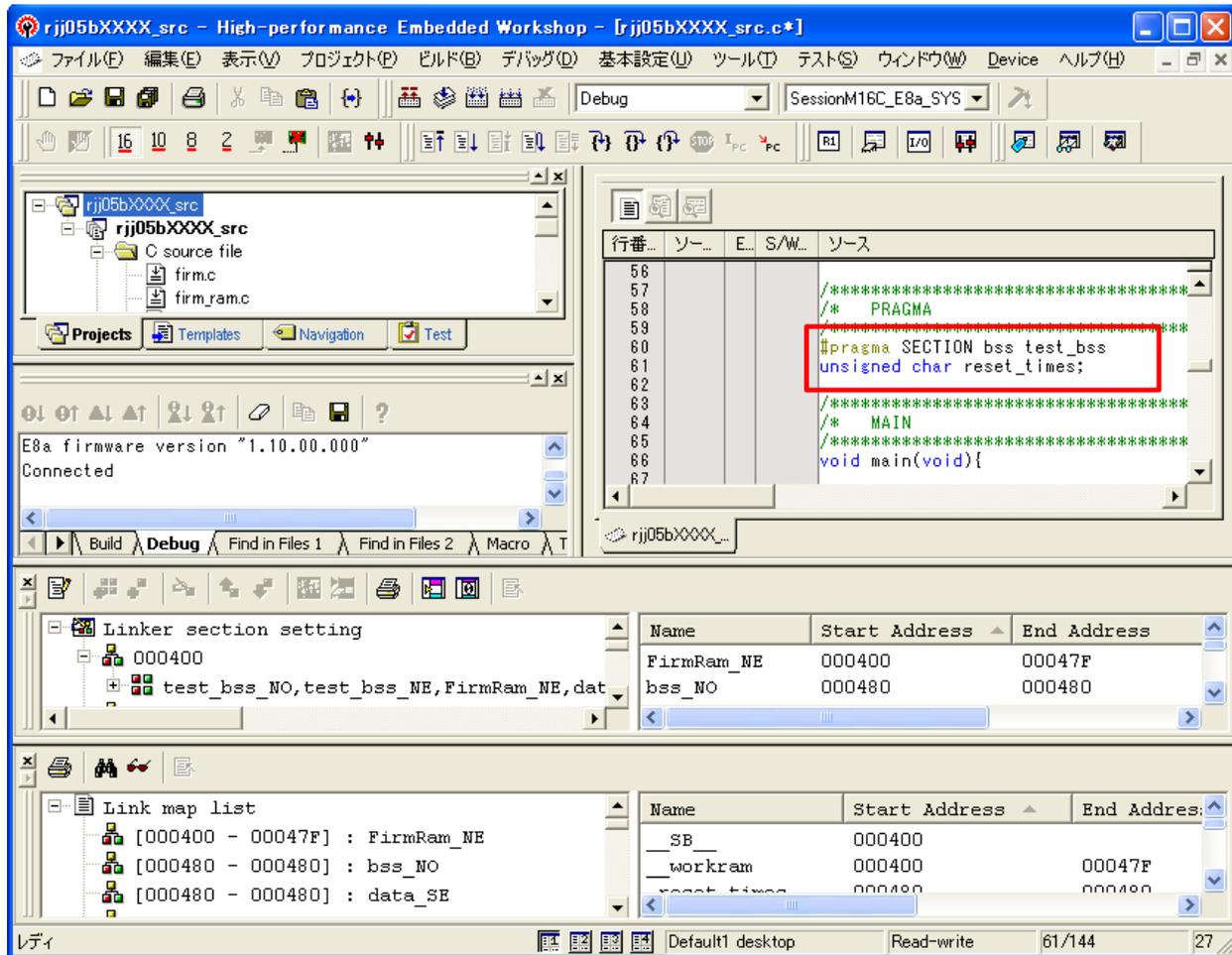
#pragma SECTION 宣言以降に記述された初期値のない変数は、test\_bssセクションに配置されます。  
 図 4.5に変数の宣言場所によるセクション配置例を示します。

```
int i;                ⇒ bssセクションに配置されます

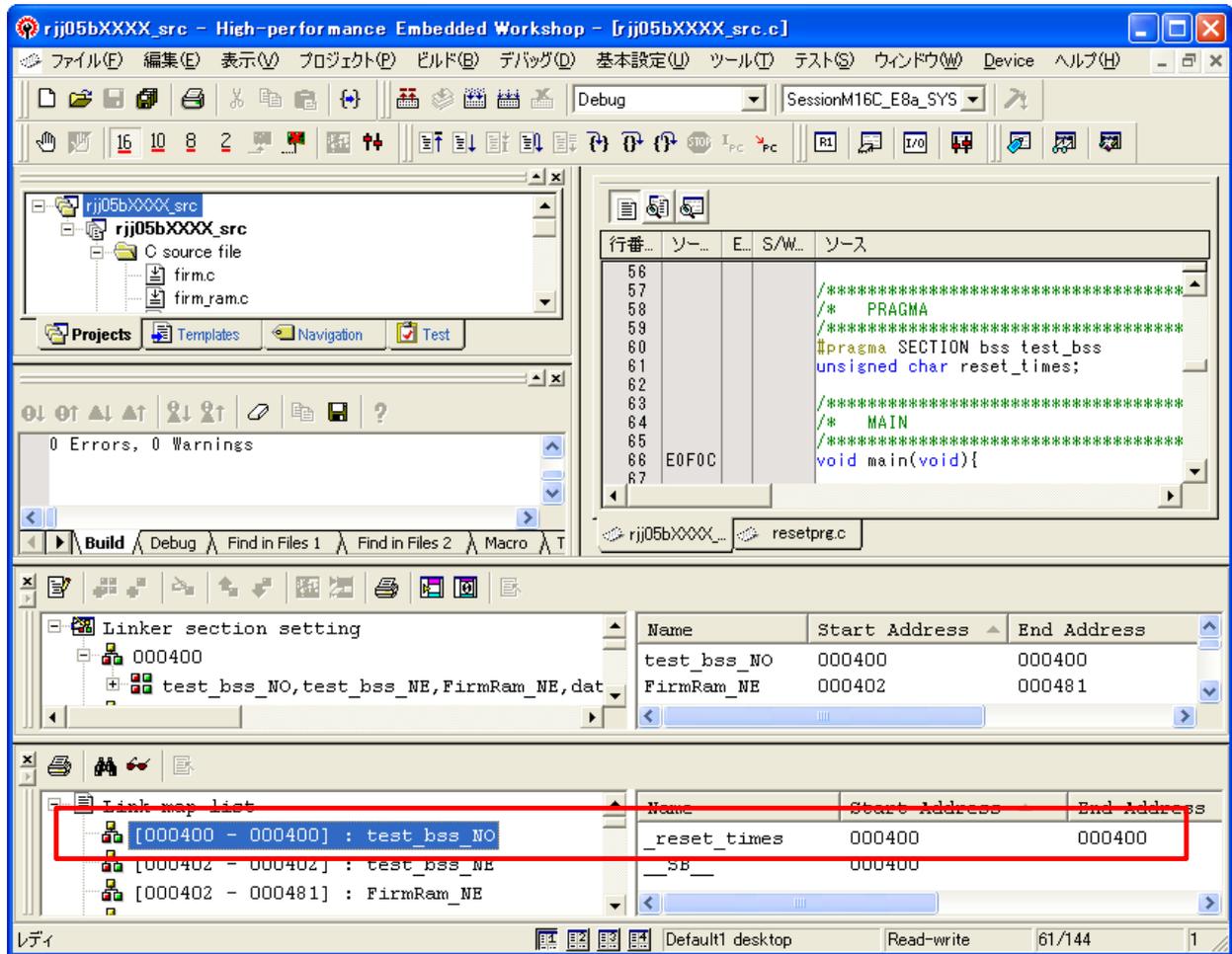
#pragma SECTION bss test_bss ⇒ これ以降に記述される初期値のない変数(bssセクションに配置される
                             変数)をtest_bssセクションに配置します。

int j;                ⇒ test_bssセクションに配置されます。
int k=10;             ⇒ 初期値のある変数はdataセクションに配置されます。
```

図 4.5 変数の宣言場所によるセクション配置例



(9) ビルドすると、test\_bss\_NOセクションに変数reset\_timesが配置されます。



## 5. サンプルコード

サンプルコードは、ルネサス エレクトロニクスホームページから入手してください。  
本サンプルコードでは、以下のバージョンのツールを使用して作成しています。

HEWのバージョン：4.08

NC30のバージョン：5.45.01

## 6. 参考ドキュメント

M16C/63 ユーザーズマニュアル ハードウェア編 Rev.2.00

M16C/64A ユーザーズマニュアル ハードウェア編 Rev.2.00

M16C/64C ユーザーズマニュアル ハードウェア編 Rev.1.00

M16C/65 ユーザーズマニュアル ハードウェア編 Rev.2.00

M16C/65C ユーザーズマニュアル ハードウェア編 Rev.1.00

M16C/6C ユーザーズマニュアル ハードウェア編 Rev.2.00

(最新版をルネサス エレクトロニクスホームページから入手してください。)

テクニカルアップデート/テクニカルニュース

(最新の情報をルネサス エレクトロニクスホームページから入手してください。)

Cコンパイラマニュアル

M16Cシリーズ、R8Cファミリ用Cコンパイラパッケージ V.5.45

Cコンパイラユーザーズマニュアル Rev.2.00

(最新版をルネサス エレクトロニクスホームページから入手してください。)

## ホームページとサポート窓口

ルネサス エレクトロニクスホームページ

<http://japan.renesas.com/>

お問合せ先

<http://japan.renesas.com/inquiry>

改訂記録	M16C/63,64A,64C,65,65C,6Cグループ リセット要因判別レジスタの使用方法
------	--

Rev.	発行日	改訂内容	
		ページ	ポイント
1.00	2009.09.30	-	初版発行
1.00	2011.04.28	-	デバイス追加 M16C/64C,M16C/65C

すべての商標および登録商標は、それぞれの所有者に帰属します。

## 製品ご使用上の注意事項

ここでは、マイコン製品全体に適用する「使用上の注意事項」について説明します。個別の使用上の注意事項については、本文を参照してください。なお、本マニュアルの本文と異なる記載がある場合は、本文の記載が優先するものとします。

### 1. 未使用端子の処理

【注意】未使用端子は、本文の「未使用端子の処理」に従って処理してください。

CMOS 製品の入力端子のインピーダンスは、一般に、ハイインピーダンスとなっています。未使用端子を開放状態で動作させると、誘導現象により、LSI 周辺のノイズが印加され、LSI 内部で貫通電流が流れたり、入力信号と認識されて誤動作を起こす恐れがあります。未使用端子は、本文「未使用端子の処理」で説明する指示に従い処理してください。

### 2. 電源投入時の処置

【注意】電源投入時は、製品の状態は不定です。

電源投入時には、LSI の内部回路の状態は不確定であり、レジスタの設定や各端子の状態は不定です。

外部リセット端子でリセットする製品の場合、電源投入からリセットが有効になるまでの期間、端子の状態は保証できません。

同様に、内蔵パワーオンリセット機能を使用してリセットする製品の場合、電源投入からリセットのかかる一定電圧に達するまでの期間、端子の状態は保証できません。

### 3. リザーブアドレス（予約領域）のアクセス禁止

【注意】リザーブアドレス（予約領域）のアクセスを禁止します。

アドレス領域には、将来の機能拡張用に割り付けられているリザーブアドレス（予約領域）があります。これらのアドレスをアクセスしたときの動作については、保証できませんので、アクセスしないようにしてください。

### 4. クロックについて

【注意】リセット時は、クロックが安定した後、リセットを解除してください。

プログラム実行中のクロック切り替え時は、切り替え先クロックが安定した後に切り替えてください。

リセット時、外部発振子（または外部発振回路）を用いたクロックで動作を開始するシステムでは、クロックが十分安定した後、リセットを解除してください。また、プログラムの途中で外部発振子（または外部発振回路）を用いたクロックに切り替える場合は、切り替え先のクロックが十分安定してから切り替えてください。

### 5. 製品間の相違について

【注意】型名の異なる製品に変更する場合は、製品型名ごとにシステム評価試験を実施してください。

同じグループのマイコンでも型名が違うと、内部 ROM、レイアウトパターンの相違などにより、電氣的特性の範囲で、特性値、動作マージン、ノイズ耐量、ノイズ輻射量などが異なる場合があります。型名が違う製品に変更する場合は、個々の製品ごとにシステム評価試験を実施してください。

## ご注意書き

1. 本資料に記載されている内容は本資料発行時点のものであり、予告なく変更することがあります。当社製品のご購入およびご使用にあたりましては、事前に当社営業窓口で最新の情報をご確認いただきますとともに、当社ホームページなどを通じて公開される情報に常にご注意ください。
2. 本資料に記載された当社製品および技術情報の使用に関連し発生した第三者の特許権、著作権その他の知的財産権の侵害等に関し、当社は、一切その責任を負いません。当社は、本資料に基づき当社または第三者の特許権、著作権その他の知的財産権を何ら許諾するものではありません。
3. 当社製品を改造、改変、複製等しないでください。
4. 本資料に記載された回路、ソフトウェアおよびこれらに関連する情報は、半導体製品の動作例、応用例を説明するものです。お客様の機器の設計において、回路、ソフトウェアおよびこれらに関連する情報を使用する場合には、お客様の責任において行ってください。これらの使用に起因しお客様または第三者に生じた損害に関し、当社は、一切その責任を負いません。
5. 輸出に際しては、「外国為替及び外国貿易法」その他輸出関連法令を遵守し、かかる法令の定めるところにより必要な手続を行ってください。本資料に記載されている当社製品および技術を大量破壊兵器の開発等の目的、軍事利用の目的その他軍事用途の目的で使用しないでください。また、当社製品および技術を国内外の法令および規則により製造・使用・販売を禁止されている機器に使用することができません。
6. 本資料に記載されている情報は、正確を期すため慎重に作成したのですが、誤りがないことを保証するものではありません。万一、本資料に記載されている情報の誤りに起因する損害がお客様に生じた場合においても、当社は、一切その責任を負いません。
7. 当社は、当社製品の品質水準を「標準水準」、「高品質水準」および「特定水準」に分類しております。また、各品質水準は、以下に示す用途に製品が使われることを意図しておりますので、当社製品の品質水準をご確認ください。お客様は、当社の文書による事前の承諾を得ることなく、「特定水準」に分類された用途に当社製品を使用することができません。また、お客様は、当社の文書による事前の承諾を得ることなく、意図されていない用途に当社製品を使用することができません。当社の文書による事前の承諾を得ることなく、「特定水準」に分類された用途または意図されていない用途に当社製品を使用したことによりお客様または第三者に生じた損害等に関し、当社は、一切その責任を負いません。なお、当社製品のデータ・シート、データ・ブック等の資料で特に品質水準の表示がない場合は、標準水準製品であることを表します。  
標準水準： コンピュータ、OA機器、通信機器、計測機器、AV機器、家電、工作機械、パーソナル機器、産業用ロボット  
高品質水準： 輸送機器（自動車、電車、船舶等）、交通用信号機器、防災・防犯装置、各種安全装置、生命維持を目的として設計されていない医療機器（厚生労働省定義の管理医療機器に相当）  
特定水準： 航空機器、航空宇宙機器、海底中継機器、原子力制御システム、生命維持のための医療機器（生命維持装置、人体に埋め込み使用するもの、治療行為（患部切り出し等）を行うもの、その他直接人命に影響を与えるもの）（厚生労働省定義の高度管理医療機器に相当）またはシステム等
8. 本資料に記載された当社製品のご使用につき、特に、最大定格、動作電源電圧範囲、放熱特性、実装条件その他諸条件につきましては、当社保証範囲内でご使用ください。当社保証範囲を超えて当社製品をご使用された場合の故障および事故につきましては、当社は、一切その責任を負いません。
9. 当社は、当社製品の品質および信頼性の向上に努めておりますが、半導体製品はある確率で故障が発生したり、使用条件によっては誤動作したりする場合があります。また、当社製品は耐放射線設計については行っておりません。当社製品の故障または誤動作が生じた場合も、人身事故、火災事故、社会的損害などを生じさせないようお客様の責任において冗長設計、延焼対策設計、誤動作防止設計等の安全設計およびエージング処理等、機器またはシステムとしての出荷保証をお願いいたします。特に、マイコンソフトウェアは、単独での検証は困難なため、お客様が製造された最終の機器・システムとしての安全検証をお願いいたします。
10. 当社製品の環境適合性等、詳細につきましては製品個別に必ず当社営業窓口までお問合せください。ご使用に際しては、特定の物質の含有・使用を規制するRoHS指令等、適用される環境関連法令を十分調査のうえ、かかる法令に適合するようご使用ください。お客様がかかる法令を遵守しないことにより生じた損害に関し、当社は、一切その責任を負いません。
11. 本資料の全部または一部を当社の文書による事前の承諾を得ることなく転載または複製することを固くお断りいたします。
12. 本資料に関する詳細についてのお問い合わせその他お気付きの点等がございましたら当社営業窓口までご照会ください。

注1. 本資料において使用されている「当社」とは、ルネサス エレクトロニクス株式会社およびルネサス エレクトロニクス株式会社とその総株主の議決権の過半数を直接または間接に保有する会社をいいます。

注2. 本資料において使用されている「当社製品」とは、注1において定義された当社の開発、製造製品をいいます。



ルネサス エレクトロニクス株式会社

■営業お問合せ窓口

<http://www.renesas.com>

※営業お問合せ窓口の住所・電話番号は変更になることがあります。最新情報につきましては、弊社ホームページをご覧ください。

ルネサス エレクトロニクス販売株式会社 〒100-0004 千代田区大手町2-6-2（日本ビル）

(03)5201-5307

■技術的なお問合せおよび資料のご請求は下記へどうぞ。

総合お問合せ窓口：<http://japan.renesas.com/inquiry>